

永原学園地域子育て支援センター

さんこう・ぽぽらだよ!

令和6年4月発行・第204号

認定こども園西九州大学附属 三光保育園

TEL:0952-31-6877



❀ 4月～6月の予定 ❀

※4月の支援の予約は4/15(月)の9時半から受付けます。



月	日	曜	実施グループ名
4	17	水	高木瀬赤ちゃんサロン
	24	水	フリーデイ
	30	火	フリーデイ
5	7	火	フリーデイ
	8	水	フリーデイ
	9	木	フリーデイ
	15	水	環境講座
	17	金	防災講座
	21	火	じゃがいも掘り体験
	23	木	じゃがいも掘り体験
30	木	若楠にこにこサークル	
6	4	火	フリーデイ
	5	水	フリーデイ
	6	木	フリーデイ
	10	月	なかよし2歳
	11	火	なかよし2歳
	12	水	なかよし1歳
	13	木	なかよし1歳
	14	金	ミックス
	21	金	赤ちゃんの日
	25	火	リフレッシュ講座
27	木	ベビーマッサージ講座	

「今年度の活動」

令和6年度がスタートしました。保育園、幼稚園では、新入園児さんの慣らし保育が始まり、あちらこちらから泣き声が聞こえています。泣き声がするところに足を運んでみると、何と、在園児さんも！環境の変化で不安や寂しさを感じる敏感な子ども達への対応も欠かせません。体力は少々劣るシニアの保育者もこの時期はフル稼働です。一緒に手をつないで園庭を散策したり、花の水やりやダンゴムシ探し、色水づくり等を共にすることで、次第に情緒は安定してきます。入園式まで10日程に迫ったこの間にたくさん遊んで、園生活に楽しみが持てるように関わっている保育現場です。

さて、佐賀県・佐賀市では、“誰でも通園制度”を試行的に始める乳幼児施設も出ています。家庭保育の可否に拘わらず、月に一定時間利用できる0～2歳児までを対象にした制度です。三光保育園には、「一時預かり保育(あやめ組)」があり、週3日か月14日まで、就学前のお子様利用できます。今年度から、**アバンセのすぐ南西多布施にある分園 PINO に場所を代えて行います。広くて新しい施設です。**皆様のご利用をお待ちしています。

今年度もぽぽらのご利用共々、どうぞよろしくお願いたします。
(三光保育園園長)

永原学園三光保育園 子育て支援事業について

- **赤ちゃん(0歳)の日**… 月の初めに電話で予約。年8回実施。親子で登園し、一緒に楽しめます。
- **なかよし1歳、なかよし2歳(登録制)**
4/15(月)電話にて申し込みを受け付けます。
月に1回(年8回)親子で登園し、一緒に楽しめます。
- **ミックス**…年8回実施。月の初めに電話で予約。就学前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して楽しく集う場です。
- **フリーデイ**…月1～3回実施。予約は不要です。
- **シニアサロン**…月1回実施
地域の方々に「さんこうぽぽら」におこしいたき、集いの場として楽しいひと時を過ごします。
- **その他**
☆じゃがいも掘り体験(5月) ☆親子クッキング(8月)
☆リフレッシュ講座(年1回) ☆防災講座(年2回)
☆さつまいも掘り体験(10月) ☆食育講座(年1回)
☆育児講座(年2回) ☆食育相談(要申込)
☆環境講座(年2回) ☆出前講座(年16回)
☆ベビーマッサージ講座(年2回)
☆育児相談(随時)

ぽぽら(園庭を含む)開放の時間帯について

開園日:月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

時間:9:00～12:30

※園行事の為、ご利用できない場合があります

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります

12:30～13:30 昼休み・準備のため閉園

13:30～16:00 ご利用の場合は要電話予約

「シニアサロン」10時～12時

- 4月22日(月):
 - ・季節の歌を歌いましょう
 - ・新茶を味わいましょう。
- 5月31日(金):
 - ・花の苗を植えましょう
 - ・保育園たんぽぽ組さんとの交流
 - ・パワーアップ講座
- 6月20日(木):
 - ・健康体操(理学療法士さん)

「いつもと違う」に気付く

西九州大学短期大学部 幼児保育学科 講師 清水陽香

新年度が始まり、大きく環境の変わったお子さん、保護者さんも多いことと思います。また、通う場所は変わらなくても、クラスの先生や周りのお友だちの顔ぶれが変われば、それは十分に「新しい」環境です。新しい環境で、初めての何かに出会ったり気付いたりすることはとても素敵なことですが、同時にストレスにもなります。「ストレス」と言うと、嫌なことや苦手なことがある時に感じるものだと思われる方も多いかもかもしれません。しかし実は、嬉しいことや楽しいことでもストレスになることがあります。

「ストレス」は、心理学では一説として「身体的または心理的安定をおびやかすような事態の総称」と定義されます。難しく書いてありますが、「体や心がいつもと違う状態になる状況全般」だと思ってもらえば大丈夫です。ですから、ポジティブでもネガティブでも、強い心の動きはストレスの原因になります。あるいは、暑い／寒い、電気が明るい／暗い、音が大きい／小さいといった物理的な刺激も同じです。こうしたストレスの原因になる物事を、専門的には「ストレッサー」と言います。

ストレッサーによって体や心がいつもと違う状態になると、人は何とかしていつもの状態に戻そうと、様々なサインを出します。不安や怒りといった感情的な反応や、頭痛や腹痛といった身体的な反応である場合もあります。このように、ストレッサーに対抗しようとして出てくる反応が「ストレス反応」です。私たちは、日々様々なストレッサーにさらされ、様々なストレス反応を示しています。ストレスを感じることも自体は全く問題のないことです。ただし、ストレス反応が長く続いたり、強くなったりしてしまうと、病気になったり生活に支障が出たりします。早めに気付いて対処することがとても大切です。

いつもと違うことが起きやすい、つまりストレッサーが多い春は、子どもにとっても大人にとってもストレス反応が生じやすい時期です。これまでに自分とお子さんがどんなストレッサーに対してどのようなストレス反応を示してきたかを考えてみると、早めに気付く役に立ちます。さらに可能であれば、以前どのように対処したのか、ストレス反応の軽減に役立った方法は何だったか思い出してみてください。

特にお子さんは、自分でストレス反応に気付くことが難しいことが多いです。いつもよりもうっすらだけ様子を気にかけてたり、生活のペースをあえて緩めたりすることで、ストレスに早めに気付いたり、ストレス反応を予防したりすることができます。また親御さん自身も、自分の体や心の状態に意識を向けてみてください。ストレスと上手く付き合いながら、気持ち良い春を過ごしていただければと思います。